



信長の台所 津島の祭人おひろめ。

10.6 土 10.7 日



10月6日(土)

- ◆子供獅子 ◆津島山車集合 居森社(向島の山車)
大土社(今市場の山車)
市神社(七切の山車)

9月30日(日)

津島神社奉納 小笠原流弓馬術奉納の儀

交通アクセス ※会場へは、公共交通機関をご利用ください。

- 名鉄電車「名鉄名古屋駅」より約30分「津島駅」下車
- JR・近鉄「弥富駅」乗り換え名鉄電車で約10分「津島駅」下車
- 東名阪道「弥富I.C」より国道155号線で約15分
- 東海北陸道「尾西I.C」より国道155号線で約35分

10月7日(日)

- ◆神守山車からくり披露
- ◆津島山車からくり・車切披露
- ◆津島山車一斉総車切
- ◆石採祭車競演
- ◆神楽
- 唐白町石採祭車

津島神社奉納

山車からくり 石採祭車 武道大会



※天候等により中止又は変更になる場合もあります

お問い合わせ

(一社)津島市観光協会 平日10時~17時 ☎0567-28-8051

津島市建設産業部産業振興課

平日9時~17時 ☎0567-55-9663

津島市 秋まつり

検索

10月7日(日)

尾張津島秋まつり

祭事

山車からくり津島雛子。
鳴り渡る鉦太鼓。

尾張津島の二大祭礼は天王祭と秋まつりです。

秋まつりは、正徳元年(1711)に津島神社の末社・市神社の祭礼で傘鉾を出したことに始まり、各町は山車風流を競い合いました。

秋天の下、華麗な山車が町なかを巡行し、からくり人形の妙技を披露します。山車の前方を持ち上げ回転させる勇壮な「車切」も必見です。さらに太鼓・鉦を大音響で打ち鳴らす石採祭車、薄暮に数多の提灯が点された山車など、秋の一日、江戸文化を満喫できます。



神守山車

穂戸戸神社・憶感神社(神守町)の祭礼に引かれたもので、文化年間(1804~1818)頃に始まったと言われます。



石採祭車順路 各町内(午前10:00頃～) → 津島駅前 到着(午後0:00頃)

石採祭車

旧津島の北部・中部・南部の3車は大正4年頃から、唐臼町車については昭和20年代頃から始まり、鉦・太鼓を打ちならして町を練り歩きます。

※雨天時、天幕が変わることがあります。



北部車

天幕は白地に神武天王の頭に金鶴がとまっている有様を金糸色糸で縫ってある。

中部車

天幕は青緑地に金糸色糸で竹と虎が縫ってある。

南部車

天幕は西陣織で須佐之男命が八頭大蛇退治の有様を現している。



山車の起源

津島の山車は起源を異にする今市場、向島、七切、神守の山車群の四種類からなっています。大正15年10月津島神社が国幣小社に昇格したのを機にそれぞれ祭りに登場していた山車は翌年より同日に行われるようになりました。現在は10月第一日曜日となりました。



津島山車順路 各町内 → 津島駅前到着(午後0:00頃～) → 津島駅前からくり・

向島の山車

居森社(いもりしゃ)の祭礼に引かれたもので、寛政年間(1789~1801)頃から整備されていたと言われる。

今市場の山車



◆ 中之町車

唐子の文字書き

◆ 馬場町車

大黒の打出の小槌(こづち)が割れて唐子が出て遊ぶ

◆ 上之町車

唐子の飛付き



◆ 小中切車

住吉明神変じて社殿となり又明神にもどる

津島神社奉納
武道大会
午前9:00～午後3:00頃
「錬成館」



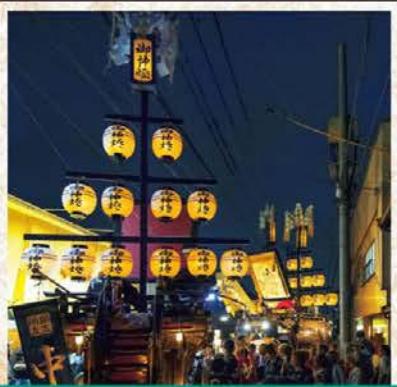
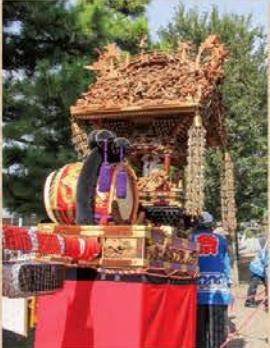
中町車 林和靖 (りんなせい)

上町車 間羽 (かんう)

南町車 寿老人 (じゅろうじん)

かぐら 神楽

神楽台の上に屋形を置き、その後方に美しく飾りつけた太鼓と付太鼓を載せ各町内で引き出され神楽太鼓が打ち鳴らされます。



津島駅前 競演 (午後0:40頃～) → 市内練り歩き → 津島神社 奉納 (午後2:30頃～) → 市内練り歩き (午後5:00頃～) → 各町内



一斉総車切 とき／午後7:00頃～ ところ／天王通1交差点附近

(都合により、参加できない山車もあります。)

車切披露 (午後1:00頃～) → 天王通り (午後1:40頃～) → 津島神社 からくり奉納 (午後3:00頃～) → 天王通1交差点附近 一斉総車切 (午後7:00頃～) → 各町内

大土社 (おおつちしゃ) の祭礼に引かれたもので、天明年間 (1781～1789) 以前に整備されていたと言われる。

七切の山車 市神社 (いちがみしゃ) の祭礼に引かれたもので、正徳元年 (1711) 笹に提灯を付け傘鉾を出したのに始まったと言われる。



◆ 朝日町車

湯立神子 (ゆだちみこ)

◆ 大中切車 (不参加)

巻子遊 (くまこあそび) と
唐子遊 (からこあそび)



◆ 米之座車 ◆ 高屋敷車 ◆ 布屋町車 ◆ 麵屋町車 ◆ 池町車 ◆ 北町車

神主が宝船に変わる 猪々 (じょうじょう) の面をかぶる、狂歌を打ち鳴らす。 鮎子 (えびす)・大黒の舞 湯取神子 (ゆとりみこ) 唐子遊 (からこあそび) 虎子遊 (からこあそび) 虎子舞と唐冠の太閤さん

10月6日(土)

津島山車集合

● 向島の山車

午後3:00頃～居森社に集合し奉納
午後5:30頃～神社南門にて車切



● 今市場の山車（奉納奉告祭）

午後2:00頃～大土社に集合



● 七切の山車

午後4:00頃～市神社に集合
午後6:00頃～市神社にて提灯点灯



子供獅子

■とき／午後1:00～午後2:00
■ところ／津島神社



子供獅子は、子どもたちがハッピを着こみ、頭にはち巻き、手には獅子頭を持ち、「ワッショイ、チロリン」の掛け声も勇ましく、各町内を練り歩き、津島神社に詣でます。

10月7日(日)

津島駅～津島神社周辺

祭事及び山車等運行に伴う歩行者専用道路区間

※市内全域にて山車等の運行に伴い通行ができない場合がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



●まつり当日は、混雑しますので、電車・バスをご利用ください。

※天候等により中止又は時間が変更になる場合もあります。

9月30日(日)



おがさわらりゅう
小笠原流

きゅうばじゅつほうのうぎ
弓馬術奉納の儀

■とき／正午～ ■ところ／津島神社

津島神社奉納

墓目の儀・百々手式の弓引き。

国の重要文化財 堀田家住宅 有料



10月6日(土) 午前10:00～午後3:00 ■大人 300円

10月7日(日) 午前10:00～午後3:00 ■小中学生100円

問い合わせ 津島市教育委員会 社会教育課 電話 0567-24-1111

10月7日(日)

神守地区

祭事及び山車運行に伴う混雑予想区間



2018